

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成25年11月21日 (2013.11.21)

【公表番号】特表2010-525319(P2010-525319A)
 【公表日】平成22年7月22日 (2010.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報2010-029
 【出願番号】特願2010-504015(P2010-504015)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 35/08 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 35/08 A

G 0 1 N 37/00 1 0 1

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成25年9月19日 (2013.9.19)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 4 2
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 4 2 】

一実施形態において、サンプルを受容する領域に液体のサンプルが加えられるとき、液体は、一方の流路のゲートまで流れて行き、試薬は、サンプルによって溶かされる。それは、図 2 a に示される。図 2 において、黒い矩形は、反応体を象徴している。他方の流路において、液体は、サンプルを受容するための領域に流れ込む。サンプルは、計測が実行される分析ポイントを通り過ぎる。流路のうち 1 つの流路の高い毛管力のために、液体は、最大の毛管力を持つ流路に沿って流れて、より高い毛管力を持つシンクを満たす。より高い毛管力を持つシンクが完全に満たされるまでは、液体は、より低い毛管力を持つ領域に流れ込み始めることはない。第 1 の工程で分析ポイントを流れるサンプルの量および時間は、より高い毛管力を持つシンクを満たすことによって定められる。図 2 b において、より高い毛管力を持つシンクが完全に満たされ、そして、サンプルは、液体により低い毛管力を及ぼす領域に流れ込み始める。